

大学発新産業創出プログラム プロジェクト推進型 SBIRフェーズ 1 支援

2026年2月

スタートアップ・技術移転推進部

スタートアップ第1グループ



科学技術振興機構

目的

各省庁等から社会ニーズ・政策課題をもとに提示された「研究開発テーマ」に対して、

大学等の研究者による独創的アイデアにより研究者自らが

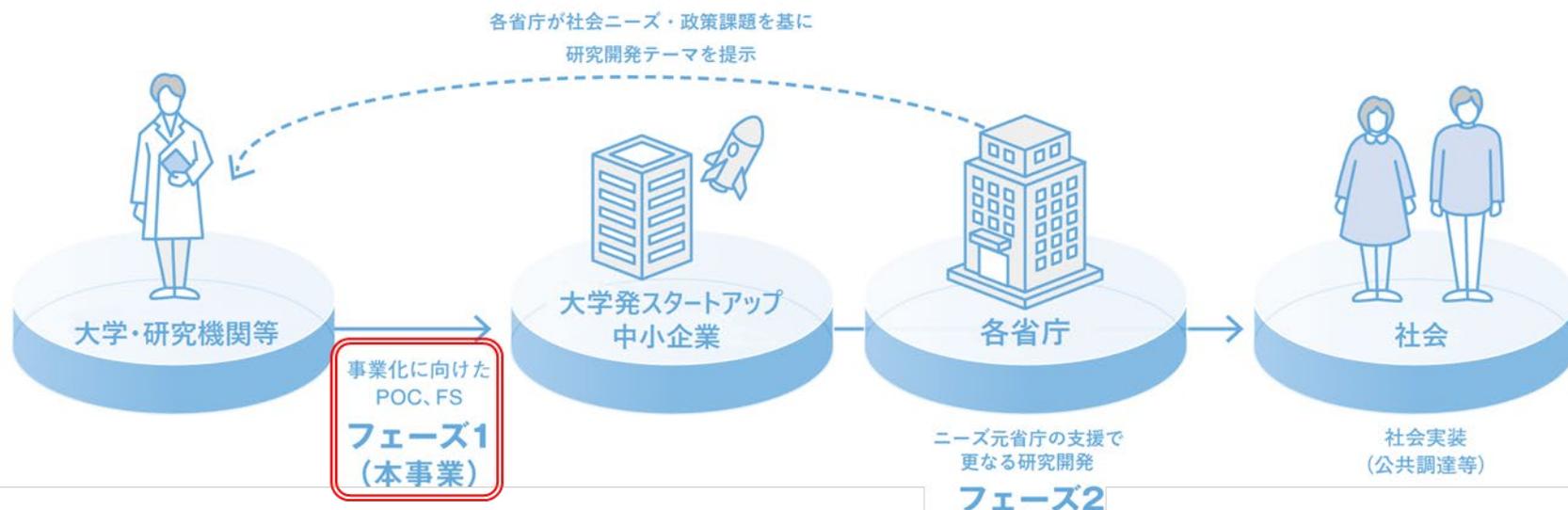
概念実証（POC）や実現可能性調査（FS）を実施し、

大学等発スタートアップの起業や、

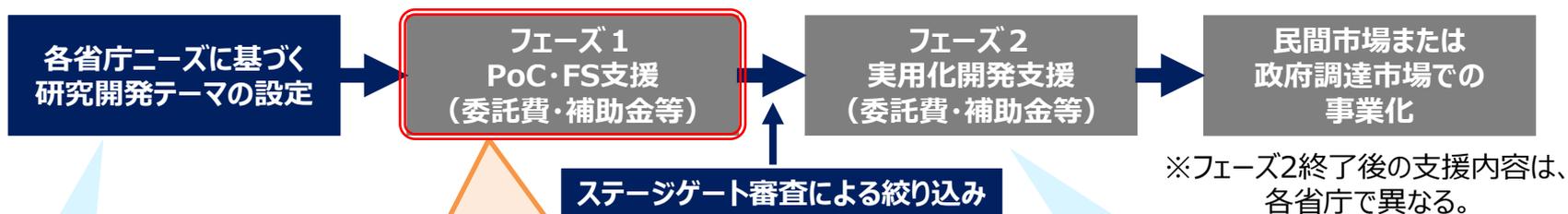
大学等発スタートアップを含む**既存中小企業（設立15年以内）への技術移転**※を行うことにより、

新技術の早期社会実装を支援することを目的とします。

※一部、技術移転が対象外の研究開発テーマがあります。



日本版SBIR制度における「SBIRフェーズ1支援」



各省庁等より、
社会ニーズ・
政策課題に基づく
「研究開発テーマ」
が示されます。

JST 「SBIRフェーズ1支援」

「研究開発テーマ」に沿った
概念実証(POC)や
実現可能性調査(FS)を実施します。

募集対象：大学等の研究者 ※企業は対象外

各省庁等の制度

「フェーズ2」以降、実用化に向けて、
さらに本格的な研究開発を
実施します。



SBIRフェーズ1支援委員会の委員長、副委員長、委員と
ニーズ元省庁の指定する有識者等※が連携し、
課題の採択、採択後のマネジメントを実施します。

※各省庁はプログラムマネージャー（PM）を設置します。

【SBIRフェーズ1支援 事業概要】 <https://www.jst.go.jp/start/sbir/index.html>

“フェーズ1”終了時の目標

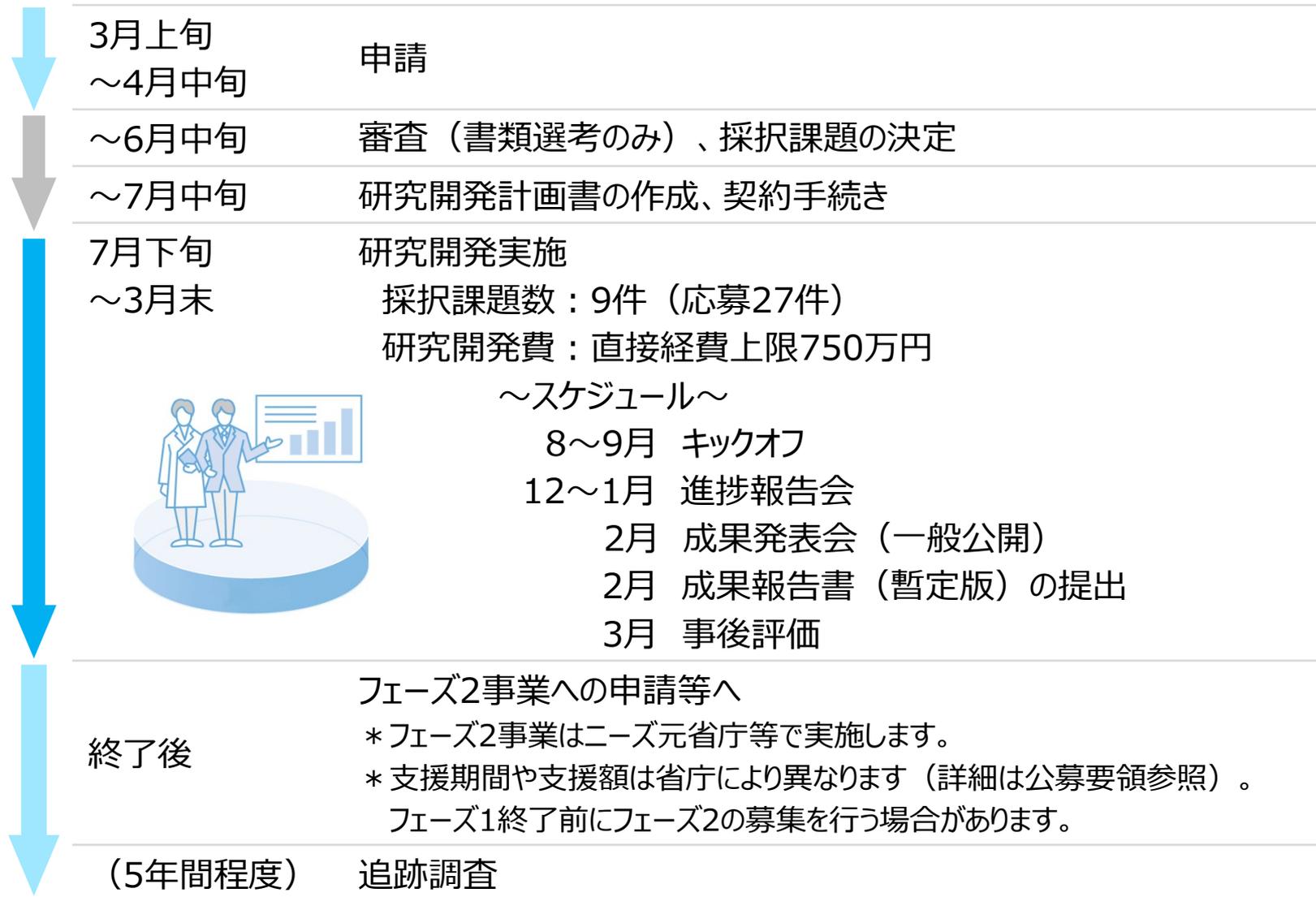
- ・概念実証（POC）や実現可能性調査（FS）が完了していること。
- ・ビジネスモデルの検討が十分に進んでいること。
- ・知財戦略の検討が十分に進んでいること。

※研究開発テーマごとに上記に加えて別途「フェーズ2への移行条件」を設けています。
詳細は、公募要領を確認してください。

2025年度 SBIRフェーズ1支援 公募概要

プログラム名	SBIRフェーズ1支援
募集対象	大学等の研究者 (起業を目指す者／既存中小企業（設立15年以内）への技術移転を目指す者) ※一部、技術移転が対象外の研究開発テーマがあります。
対象分野	各省庁等における社会課題や政策ニーズを元に設定された 「研究開発テーマ」に対応する分野
研究開発費	上限750万円（直接経費） ※研究開発費は、予算希望額の多寡にかかわらず、研究開発計画等の妥当性について 厳密な審査を行い、査定を経て決定します。 ※間接経費（原則、直接経費の30%）を別途措置します。
研究開発期間	2025年7月下旬 ～ 2026年3月末（8ヶ月程度）
公募期間	2025年3月14日（金）～ 4月24日（木） 正午
選考期間	2025年4月下旬～6月中旬頃（書類選考のみ）
採択件数	9件程度

活動実施の流れ（2025年度）



選考の観点（2025年度）

（1）研究開発テーマとの関連性

- ・研究開発テーマにおけるニーズ元省庁の提示する社会ニーズ・政策課題の解決に貢献するか。

（2）技術シーズ

- ・技術の基となる研究成果等が、独創性、新規性を有しているか。
- ・実現を目指す技術が、競争に対する優位性を有しているか。

（3）事業化の可能性

- ・事業の実現性や成長性が期待できるか。
- ・知財戦略が明確で、事業に支障が無いか。
- ・技術シーズの事業化に対する熱意を有しているか。
- ・申請時点での技術シーズの成熟度を適切に把握し、事業化に向けた検討ができているか。

（4）研究開発計画

- ・事業化を目指すうえで、本研究開発期間中に達成しようとする目標が妥当か。
- ・設定した目標に対し、研究開発計画が妥当か。
- ・活動に向けて適切な体制となっているか。

（5）利益相反、倫理面の配慮、他資金との切り分け、エフォート確保等に関する検討状況

2026年度 研究開発テーマ

番号	ニーズ元	タイトル
(1)	総務省	Beyond 5G の実現、同技術を活用したサービスの社会実装・市場展開を見据えた研究開発
(2)	厚生労働省	障害者の自立や社会参加を促進する汎用的な 支援機器 の開発
(3)	農林水産省	林業の スマート化 、木質資源の 高付加価値化 に資する新技術の研究開発)
(4)	国土交通省	海事分野のDX 推進 、生産性向上、労働負担軽減、安全・安心の確保等に資する研究開発
(5)	国土交通省	GX 推進 ・脱炭素をはじめとした海事分野の 環境課題の解決 に資する研究開発
(6)	環境省	AI× 資源循環DX による廃棄物処理技術の開発
(7)	環境省	ブルーカーボン 吸収源対策に資する技術の開発
(8)	警察庁 消防庁	地中の埋設物や要救助者の探索に資する 次世代防災・救助支援技術 の開発
(9)	消防庁	次世代 消火技術 の研究開発

※社会実装方法（起業/技術移転）含む各研究開発テーマの詳細は、公募開始後に公募要領をご確認ください。

2025年度採択の9課題について成果発表会を開催します。

- 開催日時：2026年3月2日（木） 13:00～15:45
 - 開催形式：Zoomウェビナーによるオンライン開催
（Zoomウェビナーへの参加URLはお申し込み後にご案内します）
 - 参加費：無料（事前申し込みが必要です）
 - 申込締切：2026年3月2日（月） 12:45
- ▼詳細・お申し込みはこちら

https://form2.jst.go.jp/s/sbir-one_r7_seika

これまでの実績

フェーズ2事業への採択

2021年度採択	21 課題中	8 課題がフェーズ2事業に採択
2022年度採択	12 課題中	6 課題がフェーズ2事業に採択
2023年度採択	5 課題中	3 課題がフェーズ2事業に採択
2024年度採択	9 課題中	3 課題がフェーズ2事業に採択

※フェーズ2事業は、ニーズ元省庁等で実施

これまでの実績

設立スタートアップ^o 14社

会社名	設立年月	研究機関
株式会社エキュメノポリス	2022年5月	早稲田大学
株式会社ハイパーデジタルツイン	2022年5月	芝浦工業大学
志エンボディ合同会社	2022年11月	愛媛大学
株式会社ロボティクスセーリングラボ	2023年4月	大阪公立大学
株式会社ayumo	2023年6月	大阪南医療センター
株式会社UMINeCo	2024年8月	東京農工大学
株式会社ニューディメンジョンDNA研究所	2024年10月	静岡大学
株式会社OceanFluidics	2025年2月	海洋研究開発機構
株式会社M2T2	2025年2月	東京科学大学
株式会社Oceanics Japan	2025年2月	広島大学
Vision Labs株式会社	2025年3月	関西学院大学
ケイエムエデュケーション合同会社	2025年4月	熊本高等専門学校
株式会社ハイパーフード・アクア	2025年4月	北里大学
株式会社Iridescence	2025年8月	東京大学

問い合わせ先

国立研究開発法人科学技術振興機構
スタートアップ・技術移転推進部
スタートアップ第1グループ
(SBIRフェーズ1支援担当)

E-mail : sbir-one@jst.go.jp

- ・ JSTホームページ : <https://www.jst.go.jp>
- ・ STARTホームページ : <https://www.jst.go.jp/start>
- ・ 公募情報 : <https://www.jst.go.jp/start/sbir/call2026.html>
(公募要領・申請書)

※現時点では募集予告を掲載しております。

公募開始後、本ページで公募要領・申請書をダウンロードしていただけます。